



ロイヤルエンジニアリング株式会社

2018年度 環境経営レポート

E.S.スプルーブッシュ 特許第5124743号取得
千葉県ものづくり製品第120号認定品



(2018年1月～2018年12月)
文書番号：RE-00



作成 2019年 6月 20日

承認者	確認者	作成者
萩谷	小檜	末次

代表取締役
萩谷 忠昭





〔 目次 〕

1. 組織の概要
2. 認証・登録の対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営システム組織図
5. 環境負荷の年間実績推移
6. 環境経営目標及び実績
 - 1) 中期環境経営目標
 - 2) 環境経営目標の実績
7. 環境経営計画の取組結果と評価
 - 1) 二酸化炭素排出量削減(節電)
 - 2) 二酸化炭素排出量削減(燃料)
 - 3) 再生プラ量削減
 - 4) 廃棄物排出量削減
 - 5) 水道水の削減
 - 6) グリーン調達
 - 7) 環境配慮の製品の提案
8. 次年度の取組内容
9. 環境関連法規等遵守状況
10. 代表者による評価及び見直し



1. 組織の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
ロイアルエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 萩谷 忠昭



- (2) 所在地
① 本社：千葉県我孫子市天王台3-3-5
② 事業所（営業所）：千葉県我孫子市天王台3-2-21
③ ロイアル館（研究所）：千葉県我孫子市天王台3-2-5

- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡先
責任者 末次 藍
TEL 04-7183-6100

- (4) 事業の規模

活動規模	単位	2017年	2018年	比較
生産量	kg	5,786	9,064	156.7%
売上高	百万円	345	442	128.1%
従業員	人	19	19.5	102.6%
床面積	m ²	480	480	100.0%

床面積（本社）314.35（営業所）99.36（研究所）66.79 [単位：m²]
人員（本社）14.5（営業所）5.5 [単位：人]

- (5) 事業年度
10月から翌9月

- (6) 事業内容
・プラスチック精密部品製作
・精密亜鉛及びアルミダイキャスト製作
・注型、樹脂加工、金属加工
・試作品の設計製作
・金型及び成形に関するコンサルティング
・「E.S.スプルーブッシュ（2012年9月18日特許取得済み）」及び
「ecoウェルドレス金型」の製作販売

2. 認証・登録の対象範囲

認証・登録番号：0005780
認証・登録年月日：2010/09/16
認証・登録事業者名：ロイアルエンジニアリング株式会社
対象事業所名：本社・工場、研究室・営業所
所在地：千葉県我孫子市天王台3-3-5

事業活動内容：精密プラスチック・精密亜鉛・アルミダイキャスト部品の製形及び金型製作、
注型・樹脂加工・金属加工試作品の設計製作、
スプルーブッシュ及び金型製作の研究開発

3. 環境経営方針

ロイヤルエンジニアリング株式会社

環境経営方針

環境理念

ロイヤルエンジニアリング株式会社は美しくかけがえのない地球を子々孫々まで残すためにはどうしたらよいかを常に考え、そして自然の摂理に即した仕事を通して社員全員が今自分達にできることに一つ一つ取り組んで行きます。

行動方針

1. 事業活動を通じて省エネルギー・省資源の推進をはかる。
2. 事業活動によって生じる廃棄物の削減及びリサイクルに取り組む。
3. 環境や省資源に配慮した製品の購入を心懸ける。
4. 環境や省資源に配慮した製品を顧客に提案する。
5. 環境関連の法規制及び協定等を遵守する。
6. お客様の要求事項を的確に把握し遵守する。
7. 全従業員にこの環境経営方針を周知させ、環境に関する教育訓練を行うと共に社外に公表する。
8. 環境保全に対する目標を定めそれに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行う。



改定日 2018年6月27日

ロイヤルエンジニアリング株式会社

代表取締役

森谷 忠昭



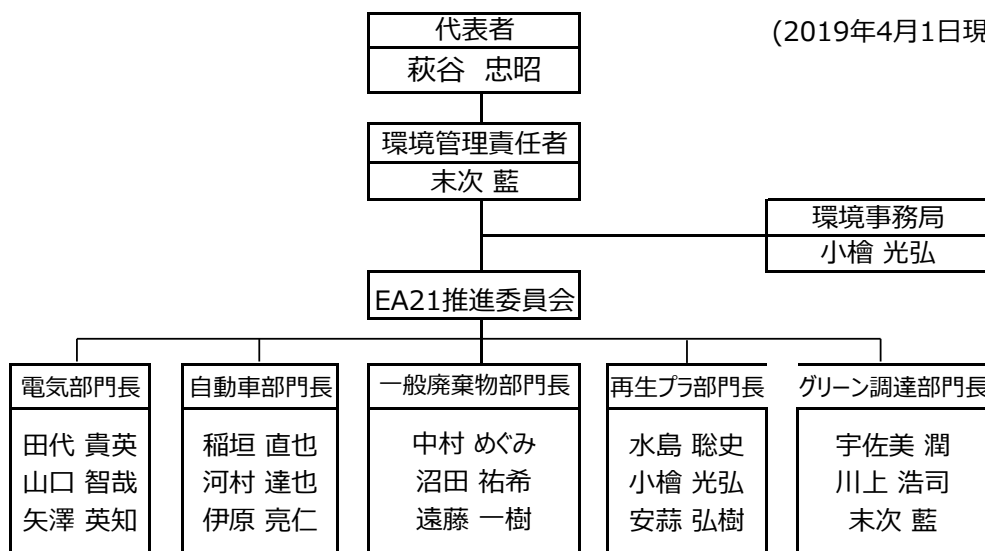
4. 環境経営システム組織図

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.



環境経営システム組織図

(2019年4月1日現在)



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境経営レポートの承認。
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理し、代表者へ報告。 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認。 - 環境経営レポートの確認。 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 内部コミュニケーションの実施
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 - 環境活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門における環境経営方針の周知。 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の環境管理責任者に報告。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5. 環境負荷の年間実績推移

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.

1) 事業規模の推移

活動規模	単位	2017年	2018年	比較
生産量	kg	5,786	9,064	156.7%
売上高	百万円	345	442	128.1%
従業員	人	19	19.5	102.6%
床面積	m ²	480	480	100.0%

2) 環境負荷の実績推移

環境への負荷			単位	2016年	2017年	2018年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素 ※		Kg-CO ₂	53,992	58,684	65,934
	購入電力 ※		Kg-CO ₂	46,511	49,719	64,035
	化石燃料		kg-CO ₂	7,482	8,965	1,899
② 廃棄物排出量	一般廃棄物	再生利用	t	4,358	4,874	7,908
		単純焼却	t	0.381	0.467	0.409
	産業廃棄物	再生利用	t	0.090	1.390	1.670
③-1 総排水量	公共用水域		m ³	0	0	0
	下水道		m ³	338	414	554
③-2 水使用量	上水		m ³	19	366	488
	工業用水		m ³	0	0	0
	地下水		m ³	319	48	66
⑤ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）		MJ	964,559	977,466	1,327,984
	化石燃料		MJ	111,240	133,047	103,652
	新エネルギー		MJ	0	0	0
	その他		MJ	0	0	0
⑥ 物質使用量	資源使用量		t	8.24	11.85	18.51
	循環資源使用量		t	4.38	5.28	8.42
⑧ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等		t	4.47	7.18	9.06
	環境負荷低減に資する製品等		t	0	0	0
	容器包装使用量		t	0.43	1.05	0.70

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、環境省平成30年12月27日公表
東京電力エナジーパートナー(株) 実排出係数0.474(kg-CO₂/kWh)を使用

※小数点第二位より下は四捨五入にて管理

6.環境経営目標及び実績

LOYAL ENGINEERING Co., Ltd.

1) 中期環境経営目標

項目		基準年実績 2016年度	単位	2017年		2018年		2019年	
				目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減		53,954	kg-CO ₂	52,335	-3%	51,256	-5%	50,177	-7%
節電 100V		18,083	kWh	17,541	-3%	17,179	-5%	16,817	-7%
200V		80,041	kWh	77,640	-3%	76,039	-5%	74,438	-7%
ガソリンの節減		2,193	ℓ	2,127	-3%	2,084	-5%	2,040	-7%
軽油の節減		852	ℓ	826	-3%	809	-5%	792	-7%
燃費向上	プリウスα	20.76	km/ℓ	20.76	維持	20.76	維持	20.76	維持
	ハイエース	11.43	km/ℓ	11.43	維持	11.43	維持	11.43	維持
	プリウスS	26.64	km/ℓ	26.64	維持	26.64	維持	26.64	維持
コピー用紙使用量の節減		96	kg	93	-3%	91	-5%	89	-7%
節水		319	kg	319	維持	319	維持	319	維持
梱包資材使用量の節減		431	kg	418	-3%	409	-5%	401	-7%
一般廃棄物の節減		479	kg	464	-3%	455	-5%	445	-7%
成形材料再生プラ排出量の削減		3,770	kg	3,770	維持	3,770	維持	3,770	維持
エコ製品の販売	断熱金型	0	型	25	—	25	—	25	—
	E.S.スプルーブッシュ	84	本	200	—	200	—	200	—

※「灯油の節減」は現在使用頻度が激減した為、管理項目より排除

2) 目標に対する実績

項目		2018年				
		目標値	単位	実績	増減率 (目標に対して)	2016年 対比
二酸化炭素の削減		51,256	kg-CO ₂	65,934	+22% ☹	+18%
節電 100V		17,179	kWh	18,953	+9% ☹	+5%
200V		76,039	kWh	116,142	+35% ☹	+31%
ガソリンの節減		2,084	ℓ	1,772	-18% ☺	-24%
軽油の節減		809	ℓ	965	+16% ☹	+12%
燃費向上	プリウスα	20.76	km/ℓ	21.47	+3.3% ☺	+3.3%
	ハイエース	11.43	km/ℓ	10.87	-5% ☹	-5%
	プリウスS	26.64	km/ℓ	24.01	-11% ☹	-11%
コピー用紙使用量の節減		91	kg	101	+10% ☹	+5%
節水		319	kg	536	+40% ☹	+40%
梱包資材使用量の節減		409	kg	698	+41.4% ☹	+38%
一般廃棄物の節減		455	kg	671	+32% ☹	+29%
成形材料再生プラ排出量の削減		3,770	kg	7,776	+52% ☹	+52%
エコ製品の販売	断熱金型	25	型	4	-	-
	E.S.スプルーブッシュ	200	本	65	-	-

※「灯油の節減」は現在使用頻度が激減した為、管理項目より排除

7. 環境経営計画の取組結果と評価

1) 二酸化炭素排出量削減(節電)

方針		二酸化炭素排出量削減(節電)	
目標達成手段： 電気に対する勉強会の開催（年1回）：12月開催 部屋に不在時、消灯の徹底 冷房と暖房の温度設定の徹底（ルール制定）：検査室23℃±1、検査室以外 冷房27℃±1、暖房22℃±1 1 PC機器・照明の消し忘れの防止：PC消し忘れが多い人対象に明示を行う。照明に関しては、随時呼び掛けを行う。 エアコンの室外機チェック			
達成状況／是正策 (実施責任者)		評価／指示 (環境管理責任者・代表者)	
3月	目標未達成、電気使用量につきましては目標値に限界があるため、委員長に目標値の見直しを依頼しております。 また現在東京電力へ加入していますが、これを新電力に切り替える方針で動いております。	新電力に切り替えをお願いいたします。 目標値についてですが、目標値自体を変えるべく “ベース年度平均値以外”のベースとなる値が無いかを EA 2 1 会議にて時間を掛けて決めて行きましょう。	
6月	目標未達成のため、定性目標への切替をお願いしたくシート提出いたしました。新電力切替は中止となりました。	定性目標シートの作成有難うございました。 新電力導入は残念な結果となりましたが、引き続き節電につながる活動をお願い致します。	
9月	8月にエアコン室外機の定期チェックを行いました。 また、エアコン温度の冷房・暖房の設定温度上限を定め、各エアコンのリモコンに明示を行いました。 今後も部屋の不在時の消灯徹底やPCモニターの消灯への注意喚起を行っていきます。	エアコン使用や不在時電気の点灯も、日々の積み重ねが数字として出てくると思います。 社員一人一人が意識を持って取り組めるよう、電気チームからの効果的な呼びかけをお願いいたします。	
12月	10月にエアコン室外機の定期チェックを行いました。 また、節電方法を改めて共有するために、勉強会を行いました。	勉強会の企画、実行有難うございました。 社員全員が一度に集まり、情報を共有できることは貴重な場だと思いますので、今後も社内で共有すべき知識・情報がございましたら積極的に勉強会をご企画願います。	
総括	定性目標への変更により、活動の方向性が見直すことが出来たのは大きな進歩だったと感じます。 今後も社内全体の節電活動に電気チームが中心となって目を配っていただけますようお願いいたします。 また室外機チェックに関しまして、次年度の電気チームへ活動内容をしっかり引き継げるよう対応をお願いいたします		

2) 二酸化炭素排出量削減(燃料)

方針 二酸化炭素排出量削減(燃料)	
自動車燃費向上手段	
①エコドライブの習得：代表者が外部講習を受け、その内容を社内へ持ち帰り、講習会を行う。(年1回) 習得後年間20～30%の燃費向上効果。 船橋第一自動車教習所or津田沼自動車教習所に講習可能。@10,300-(税込)(繁忙期除く) エコドライブ知識習得確認の為、車輛運転者に対し小テストを実施する。(年2回) ②車輛のメンテナンス：タイヤの空気圧チェック(年4回/3月・6月・9月・12月) タイヤ交換(年2回)・・・低燃費タイヤに切り替え。空気圧を高めに260～280pa設定。 夏場のサンシェード、冬場の霜よけシートの導入・活用呼びかけ バッテリーの劣化具合、カーボン堆積、エアフィルターの汚れ等、燃費に関わる箇所のメンテナンスを重点的に行う。 ③エコカーへの切り替え：車輛変更のタイミングで検討。 ④自動車燃費の把握：毎月末、各車輛の燃費計算を行い、1か月の燃費を把握する。	
	
達成状況／是正策 (実施責任者)	
評価／指示 (環境管理責任者・代表者)	
3月	目標未達成のため、降車時のエアコンoffの呼びかけ、スタットレスから普通に変更し多少改善が見られるかと思われます。
6月	タイヤ交換全車済となります。燃費改善へ向け運転終了時のエアコン切徹底のためテブラー確認等おこないました。
9月	サンシェードを用い直射日光を遮断し、非使用時の車内温度する事により冷房効率を上げ、結果的に燃費向上に繋がる取り組みを行いました。 タイヤ空気圧チェックを引き続き行って参ります。 エコドライブ講習の検討を進めて行きます。
12月	スタットレスタイヤへの全車交換済みハイブリッド車向けエコドライブ講習について確認中
総括	燃費は気温や道路状況などの環境に影響を受ける面も大きいと思いますが、各人の使用方法によって削減できる要素も多いと思いますので、引き続き呼びかけをお願いいたします。 ハイブリッド車は通常の自動車とはエコドライブ方法が異なるという話も聞きますので、効果的な方法が見つかり次第ぜひ社内周知のため勉強会の開催をお願いいたします。

3) 再生プラ量削減

方針		再生プラ量削減	
①色替え・洗浄方法の周知徹底： 色替え方法・洗浄方法を文書マニュアル化する。変更項目があればその都度更新する。また年1回はその内容を見直す。 成形担当者への周知確認の為、各作業工程の手順チェックを行う（年2回）			
②効果的な洗浄剤の導入：ページ量の少ないより効果的な洗浄剤の検索を行い、積極的に導入する。（随時）			
③廃材仕分け管理：可能な限り多くの廃材を再生プラスチックにできるよう、各材料名を仕分け・明示する。再生プラの種類は年1回見直しを行う。 また毎月末（廃材で満杯の場合は廃棄待込み後のタイミングで）置き場の整理整頓を実施する。			
④雑プラ削減運動：再生プラページのみで次の製品が成形出来る様に、スケジュールを組む。 （例：現POM白製品から次POM黒製品の場合、POMのみのページで済む。これを一回とカウント。 POMのページ団子として分別し”再生プラ”として取り扱いをする。）			
⑤ 再生プラ削減運動：成形数終了間際に材料調整をし、材料切れまで成形を行う（無駄なページをしない）			
達成状況／是正策 （実施責任者）		評価／指示 （環境管理責任者・代表者）	
3月	再生プラチームとしての活動を色々試行錯誤中です。 雑プラ・再生プラ削減の為、月の活動を見える化する様にします。	現場での活動方法、見える化の推進をお願いします。	
6月	5月より定性目標の導入を致しました。廃プラ削減の為の活動を見える化します。 現在ハイゲンページと言う洗浄剤での洗浄力の検証中です。 コスト削減の為、PX 2 やNewEX等の代替品になるか見極めます。	コスト削減につながるという事なので、新しい洗浄剤の検証を進めて下さい。	
9月	再生プラメンバーが部署移動にて、成形現場にあまり関わらなくなってしまいました。現場に従事する方々に、再生プラページ・雑プラページ削減を呼びかけをします。ページ削減しやすい方法等を提案して行く様にします。 （例：材料調整目安表作成等） 新しいページ材の検証等も現場と連携してデータ取りを行って参ります。	現場の方々が再生プラページ・雑プラページ削減できるように、密に連係して削減活動を進める様にしてください。	
12月	事業部あげて、コストと洗浄力の検証を行い、適切な洗浄ページ材の選定を進めております。	日々の業務の中で検証・結果まとめ・選定までを行うのは大変なことと思いますが、ロイヤル製造活動における要とも言える部分に関わる事柄ですので、ぜひ徹底的な調査をお願いいたします。	
総括	廃棄量の比較だけでは削減活動になかなか活かすことができずにおりましたので、定性目標への切り替えでそれが可能となった点が大変良かったと感じます。 次年度も引き続き取り組めるよう、次年度チームへの引き継ぎを宜しくお願いいたします。		

4) 廃棄物排出量削減

方針 廃棄物排出量削減		
一般廃棄物削減目標説明		
目標達成手段		
①コピー用紙 使用量削減	①購入コピー用紙の再検索（森林承認・グリーン購入品適合と価格検討） ②集約コピー・両面印刷の周知 ③書類整理による裏紙量UP	
②廃棄物の削減	①シュレッダーゴミを梱包材にしての再利用 ②ゴミ分別徹底の意識付け	
達成状況／是正策 （実施責任者）		評価／指示 （環境管理責任者・代表者）
3月	コピー用紙削減：整理活動により裏紙増で目標がクリアできた。今後も印刷方法（2in1）等の呼びかけを行い使用量削減に取り組む。 廃棄物削減：一般廃棄物削減は使用後の緑茶・コーヒーは消臭剤・中庭の肥料としての再利用を行った。しかし数字としては達成できていない状況。シュレッダーゴミの梱包材再利用を促しゴミ削減に繋げる。	今後も裏紙印刷や2in1印刷の周知徹底をお願いいたします。 一般廃棄物のコーヒーの粉を消臭剤に利用、茶殻を肥料にする案は非常に感動しました。小さなことからコツコツとやって行きましょう。 シュレッダーゴミの取り扱いも今後考えて行きましょう。
6月	コピー用紙削減：裏紙の再利用が進まず使用量増 2in1 4in1両面印刷方法・ミспリント予防（印刷レビュー確認）の再周知を行い使用量減を目指す。 廃棄物削減：一般廃棄物（家庭ゴミ）削減には資源ゴミの分別徹底が必須である。誤った分別があった際には、朝礼時に伝達し、全員が正しい分別ができるよう指導していく。	新入社員の遠藤さんが一般廃棄物チームに加入になります。 指導を宜しくお願いします。
9月	コピー用紙削減：コピー用紙の使用枚数を減らす事は出来なかったが、9月購入分コピー用紙からグリーン購入品適合品（古紙パルプ70%配合）に切り替えた。期が切り替わった事で保管期間が過ぎた書類整理を呼び掛け裏紙を増やす活動を行う。 廃棄物削減：定性目標のスケジュールに基づき、シュレッダーゴミの梱包材再利用活動を10月中に行う。	グリーン調達への配慮まで、大変素晴らしい活動内容です。 毎年10月以降数ヶ月間は裏紙在庫が潤沢になる傾向がありますが、コンスタントに排出できるよう今後も呼びかけの程お願いいたします。 次3ヵ月チェック時にシュレッダーゴミの再活用状況を確認させていただきます。
12月	コピー用紙削減：10月は期切替による廃棄書類整理で裏紙増→コピー用紙使用量削減が出来た。 廃棄物削減：可燃ごみ削減に向け、12月EA会議時にゴミの分別勉強会を実施	社員の廃棄物削減意識付けや必要知識を得る貴重な場となりますので勉強会の実施に期待いたします。宜しくお願いいたします。
総括	勉強会の実施お疲れさまでした。新入社員の方だけでなく他の社員のみなさんも再度見直すよい機会になったと思います。 次年度も継続して勉強会の計画をお願いいたします。 裏紙は受注状況に左右される面も多く、安定した確保が難しいですが地道な呼びかけがやはり必須になるかと思われます。 今後も継続して宜しくお願いします。	

5) 水道水の削減

方針	節水
水道水削減目標説明	
※2015年度より経過観察項目の為特記無し	

6) グリーン調達 ※2017年度版ガイドラインより要求項目外だが継続して取り組む

方針	グリーン調達
グリーン調達目標説明：年間10件の新規グリーン調達を目標	
目標達成手段：	
・導入状況調査：対象品目がグリーン適合品に切り替えられているか「グリーン調達品チェックリスト」を元に調査する（月1回/最低4品目以上） ・グリーン購入品検索：前述の「導入状況調査」で未実施だった品目に対して、代替品となるグリーン調達品があるのか検索を行う。検索の結果、該当するものがあれば「グリーン調達品リストアップ」に更新していき、購入担当者（庶務課）にフィードバックする。 ・月末報告：当月分の新規グリーン購入品の購入数を計上する（毎月末実施）	
評価／指示 （環境管理責任者・代表者）	
総括	年間新規調達品は昨年同様5件となり、10件の目標には満たない状況となった。しかし既存の文房具等消耗品はすでに切替済みのものも多く、現在未切替品はすぐには買い替えの発生しないものも多くあった。その為、次回購入時にグリーン調達品の有無をチェックできる「グリーン調達品リストアップ」表を作成し、今後の購入時の判断材料となる資料を作成することが出来た。新規ガイドラインからグリーン調達は要求項目では無くなるが、引き続き社内でも利用できる資料を作成できたことは大きな成果だったと振り返る。
総括	目標数には未達ですが、次年度以降も活用できる指標を作成できたのは大きな成果であったと思います。要求項目ではなくなりますが、グリーン調達は今後も継続して取り組む事項ですので、次年度チームにも活動内容をしっかり引継ぎ願います。

7) 環境配慮の製品の提案

方針	環境配慮の製品の提案
目標達成手段：	
断熱金型販売目標25型/年 ESスプルーブッシュ販売目標200本/年 断熱製品使用企業の拡大（新規取引先の開拓） ESスプルーを用いた社内成形の導入（年4回目安） 従来製品の改良、新製品の開発 真空パックの販売	 【環境配慮製品ー断熱金型・E.S.スプルーブッシュー】 プラスチック成形では生産効率を向上させる為、機械による金型の急温・急冷を行うことがありますが、通常成形以上のエネルギーを消費する事が環境配慮の点で問題となっております。 また製品までの流路部（ランナー）の廃棄量削減もまた課題として挙げられます。 弊社の「断熱金型」「E.S.スプルーブッシュ」（成形時に用いる部品）はこれらの問題を解決。 樹脂の熱量だけを利用して高品質成形が可能な為、ムダなエネルギー消費がなく、またランナー部をスリム化しての成形も実現いたします。
評価／指示 （環境管理責任者・代表者）	
総括	断熱型販売実績／4型 E.S.スプルー販売実績／65個 真空パック販売実績／1,890個 来期からエコアクションの開発の項目は無くなるが、スプルーブッシュの販売自体は今後も続いていくので、スプルーブッシュの普及による環境活動を意識して営業を行っていきたい。
総括	ロイヤルオリジナル製品であるE.S.スプルーブッシュは弊社の強みの1つでもあるので、EA21管理項目外となっても今後の取り組みに期待します。

8. 次年度の取組内容

次年度は本年度の活動内容を引き続き継続する他、以下に注力した活動を展開する。

- *定性目標切り替え後の経過観察
- *エコカー・エコタイヤの導入（車両切り替え時期にあわせ実施／継続）
- *新電力への切り替え検討



9. 環境関連法規等遵守状況

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

関連法規

法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）
	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）
	消防法
	フロン排出抑制法
条例	食品衛生法（告示第370号）
	我孫子市廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例
	我孫子市環境条例
	我孫子市火災予防条例



10. 代表者による評価及び見直し

日々の取り組みが実際に数字に反映されなければ活動の意味がありません。
実績に繋がる取り組みへのスパイラルアップを期待します。